

1 令和6年度における施策の取組

名古屋市地域公共交通計画（令和6年3月策定）に記載している施策に基づき、取組状況を整理しました。
令和7年2月4日開催の令和6年度第3回名古屋市地域公共交通協議会で頂いた意見を踏まえて修正しました。

実施施策	2024	2025	2026	2027	2028	R6年度の主な取組
(1) 公共交通による移動サービス水準の維持・確保						
① 求められる役割に合わせた公共交通の維持・確保						計画に記載 ・葉の役割を担うデマンド交通に係る実証実験（西福田学区） 公共交通空白地のうち、昨年度にアンケート調査を行うなど地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区において、令和6年11月から令和7年2月にかけて、デマンド交通に係る実証実験を実施し、葉の役割を担う地域ニーズに即した交通支援制度を検討。
						計画推進に資する ・日本版ライドシェア 名古屋交通圏においても、道路運送法78条3号の許可による日本版ライドシェア（自家用車活用事業）が開始。（令和6年4月26日） ・mobi 千種区において本格運行開始。（令和6年12月6日）
② 公共交通のわかりやすさ・使いやすさの向上と利用促進						計画に記載 ・WEBバスマップを作成（名古屋市におけるバス路線図の作成） バスの利用促進をはかるため任意の停留所を選択し、その停留所を通過する系統の全てを地図上に表示する機能を「なごや乗り換えナビ」にて追加。 ・バリアフリールート情報提供 誰もが駅周辺の移動をスムーズに行えるための情報提供として、バリアフリーマップ公開中。
						計画推進に資する ・日本版ライドシェア【再掲】 名古屋交通圏においても、道路運送法78条3号の許可による日本版ライドシェア（自家用車活用事業）が開始。（令和6年4月26日）
③ ガイドウェイバスへの自動運転技術の実装						計画に記載 ・自動運転技術の実装に向けた取組み 高架区間特有の課題（狭さ、急カーブ、横風など）解決に向け、借用車両による実験等を実施。
(2) 地域の実情に応じた移動手段の確保						
① 交通支援制度を活用した新たな移動手段の導入						計画に記載 ・交通支援制度を検討するための実証実験（西福田学区） 公共交通空白地のうち、昨年度にアンケート調査を行うなど地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区を交通支援制度を検討するためのモデル地区として選定し、令和6年11月から令和7年2月にかけて、デマンド交通に係る実証実験を実施。
(3) 先進技術を活用したシームレスな移動環境の形成						
① AI技術を活用した新たな移動手段の導入検討						計画に記載 ・AI技術を活用した新たな移動手段の導入検討に係る実証実験 公共交通空白地のうち、昨年度にアンケート調査を行うなど地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区において、運行効率の向上に向けてAI技術を活用した、デマンド交通に係る実証実験を令和6年11月から令和7年2月にかけて実施。
						計画推進に資する ・mobi 千種区において本格運行開始。（令和6年12月6日）
② MaaSの実現						計画に記載 ・AI技術を活用した新たな移動手段の導入検討に係る実証実験【再掲】 公共交通空白地のうち、昨年度にアンケート調査を行うなど地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区において、運行効率の向上に向けてAI技術を活用した、デマンド交通に係る実証実験を令和6年11月から令和7年2月にかけて実施。 ・「標準的なバス情報フォーマット」に準拠した情報の整備 名古屋交通局において整備。
③ 環境にやさしい交通の促進						計画に記載 ・市バスにおいて、燃料電池バスの試行導入を行うと共に、なごや観光ルートバス「メーグル」においても燃料電池バスの運行を開始 ・名鉄バスにおいては、燃料電池車、EV車を導入 ・各交通事業者、公共交通利用促進に向けた取組を実施
④ データを活用した移動実態調査・分析						計画に記載 ・都心部におけるビッグデータを活用した移動実態調査・分析
⑤ 回遊性を高めるための新たな路面公共交通システム「SRT」の導入						計画に記載 ・令和7年度後半のSRT「東西ルート（名古屋駅・栄間）」の運行開始に向けて、乗降・待合空間の整備に向けた準備や車両の製造・架装、関係機関との協議

2 環境にやさしい交通の促進に向けた取組

環境にやさしい交通の促進に向けた取組について、各交通事業者の取組状況を整理しました。

交通事業者名	取組内容
東海旅客鉄道株式会社	・公共交通の利用促進 ・CO2直接排出（当社排出量のうち約5％）削減に向けた取り組み ・ハイブリッド方式車両（HC85系）の投入 ⇒従来気動車（キハ85系）との比較で軽油消費量約30％削減 ・水素動力車両の開発・蓄電池車に関する調査研究 ・CO2間接排出（当社排出量のうち約95％）削減に向けた取組み ・東海道新幹線における省エネ型車両（N700S）の投入 ⇒従来車両（300系）との比較で電力消費量約28％削減 ・在来線における省エネ車両（315系）の投入 ⇒従来車両（211系）との比較で電力消費量約35％削減
名古屋鉄道株式会社	・CentXを活用した公共交通の利用促進 ・省エネ車両の導入 ・新技術を活用した再生電力の有効活用を検討 ・2024年12月21日から2025年2月28日まで小児用manacaの利用運賃相当額をmanacaマイレージポイントで全額還元する「こどもmanaca おでかけキャンペーン」を実施
近畿日本鉄道株式会社	・2024年9月19日付でプレスリリースしたとおり、2024年10月1日(火)から当分の間、「ＩＣカードでこども半額キャンペーン」を実施（HP）https://www.kintetsu.co.jp/gyomu/tabiiku/
名古屋市交通局	○R6年度に実績のあるもの ・バス車両の更新 最新排出ガス規制適合車への更新を実施 R6年度107両、R7年度106両、R8年度107両、R9年度111両、R10年度104両 ・照明のLED化 省エネ効果の高いLED照明への更新 ・エコドライブの推進 エコドライブ研修の実施、デジタルタコグラフ付ドライブレコーダーの活用 ・公共交通利用の促進 市バス・地下鉄に親しみを持ってもらえる活動、駅などにおける公共交通の利用をPRするポスターの掲示など ○R7年度以降に実施を予定しているもの ・電気バスの試行導入 R7年度に1両試行導入予定 ・高圧配電の送電ロスの削減に向けた整備 東山線各駅への高圧配電の電圧を変更するための整備
名古屋臨海高速鉄道株式会社	・公共交通の利用促進 あおなみ線のチラシに公共交通の利用を促す文言を掲載し、沿線の住宅に配布 ・照明のLED化 車内照明のLED化完了、駅構内の照明を順次LED化

交通事業者名	取組内容
愛知高速交通株式会社	・リニモ車内の照明をLED化完了、駅構内の照明を順次LED化 ・車両の推進装置（VVVFインバータ）を順次更新し、電気効率の良いものに取替え ・駅構内のエアコンを省エネタイプエアコンへ更新 ・公共交通の利用促進 ・駅務室や本社において電気やエアコンのスイッチ部分に「節電を呼びかける案内」を貼り周知
名古屋ガイドウェイバス株式会社	・CO2直接排出削減に向けた取り組みとして、全ての車両にハイブリッド車両を導入 ・再生可能エネルギーの調達として本社の屋根上に太陽光パネルを設置
株式会社JR東海交通事業	・鉄道へのモードチェンジが環境にやさしいこと（鉄道利用促進への取り組み） 2025.3.15ダイヤ改正において、平日の朝通勤帯を除く、全日全時間帯において、パターンダイヤを導入し、お客さまにわかりやすくすることで利便性向上（＝時刻検索しなくとも毎時何分と覚えていただける）と利用の促進（開業以来、初めての白紙ダイヤ改正）
名鉄バス株式会社	・令和6年度、燃料電池車1両、EV車2両を導入 令和7年度以降は検討中 ・令和7年4月よりリニューアブルディーゼル使用車両を1両導入予定 ・再生可能エネルギーの調達として、令和6年6月末に名古屋市市中川区へ移転した新営業所の屋根上に太陽光パネルを設置
三重交通株式会社	・「グリーン経営認証」全営業所取得 ・低公害車両の導入 HV車（16両、うち連接バス4両） EV車（6両） 最新排出ガス規制適合車への更新
名古屋タクシー協会	・名古屋交通圏のタクシー事業者における環境にやさしいタクシーの導入状況（令和7年3月末現在） ①HV車（導入事業者数57社、導入車両数2,307両＜全車両に占める割合48%＞） 内、トヨタJPNTAXI（LPG-HV）（導入事業者数47社、導入車両数1,864両＜全車両に占める割合38%＞） ②電気自動車（EV）（導入事業者数11社、導入車両数101両＜全車両に占める割合2%＞）（日産e-POWER搭載車除く）

3 令和7年度における施策の取組

名古屋市地域公共交通計画（令和6年3月策定）に記載している施策に基づき、取組状況を整理しました。

実施施策		R7年度の主な取組（赤字は更新箇所）
（1）公共交通による移動サービス水準の維持・確保		
① 求められる役割に合わせた公共交通の維持・確保	計画に記載	・葉の役割を担うデマンド交通に係る実証実験（西福田学区） 公共交通空白地のうち、令和5年度にアンケート調査を行うなど地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区において、令和7年度も実証実験を行い、葉の役割を担う地域ニーズに即した交通支援制度を検討。
	計画推進に資する	・日本版ライドシェア 名古屋交通圏において、道路運送法78条3号の許可による日本版ライドシェア（自家用車活用事業）が運行中。（令和6年4月26日運行開始） ・mobi 千種区において運行中。（令和6年12月6日本格運行開始）
②公共交通のわかりやすさ・使いやすさの向上と利用促進	計画に記載	・WEBバスマップによる情報提供（名古屋市におけるバス路線図の作成） バスの利用促進をはかるため任意の停留所を選択し、その停留所を通過する系統の全てを地図上に表示する機能が追加された「なごや乗り換えナビ」を公開中。 ・バリアフリールート情報提供 誰もが駅周辺の移動をスムーズに行えるための情報提供として、バリアフリーマップ公開中。
	計画推進に資する	・日本版ライドシェア【再掲】 名古屋交通圏において、道路運送法78条3号の許可による日本版ライドシェア（自家用車活用事業）が運行中。（令和6年4月26日運行開始）
③ ガイドウェイバスへの自動運転技術の実装	計画に記載	・自動運転技術の実装に向けた取組み 高架区間特有の課題（狭さ、急カーブ、横風など）解決に向け、専用実験車両の設計等に着手を予定。
（2）地域の実情に応じた移動手段の確保		
① 交通支援制度を活用した新たな移動手段の導入	計画に記載	・交通支援制度を検討するための実証実験（西福田学区） 公共交通空白地のうち、令和5年度にアンケート調査を行うなど地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区を交通支援制度を検討するためのモデル地区として選定し、令和7年度も実証実験を実施予定。
（3）先進技術を活用したシームレスな移動環境の形成		
① AI技術を活用した新たな移動手段の導入検討	計画に記載	・AI技術、MaaSアプリを活用した新たな移動手段の導入検討に係る実証実験 公共交通空白地のうち、令和5年度にアンケート調査を行うなど地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区において、運行効率の向上に向けてAI技術・MaaSアプリ（名古屋市版マイクロMaaS：デライド）を活用した実証実験を実施予定。
	計画推進に資する	・mobi 千種区において本格運行開始。（令和6年12月6日）
② MaaSの実現	計画に記載	・AI技術、MaaSアプリを活用した新たな移動手段の導入検討に係る実証実験【再掲】 公共交通空白地のうち、令和5年度にアンケート調査を行うなど地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区において、運行効率の向上に向けてAI技術・MaaSアプリ（名古屋市版マイクロMaaS：デライド）を活用した実証実験を実施予定。 ・「標準的なバス情報フォーマット」に準拠した情報の整備 「標準的なバス情報フォーマット」に準拠した情報の提供を開始。 ・今年度後半のSRT「東西ルート（名古屋駅-栄間）」の運行開始に向けて、乗降・待合空間の整備や車両の製造・架装、エリア版MaaSアプリ「CentX」との連携に向けた検討・準備、関係機関との協議
		・市バスにおける燃料電池バスの試行導入（令和5年4月1日運行開始） ・なごや観光ルートバス「メーグル」における燃料電池バスの導入（令和6年3月31日運行開始） ・市バスにおいて電気バスの試行導入予定 ・名鉄バスにおいて、燃料電池車、EV車を導入し、リニューアブルディーゼル使用車両を導入予定 ・各交通事業者、公共交通利用促進に向けた取組を実施
③ 環境にやさしい交通の促進	計画に記載	
④ データを活用した移動実態調査・分析	計画に記載	・令和6年度に実施した人流ビッグデータ等を活用した都心部の移動実態調査を踏まえて、まちづくりと連携した移動手段を検討
⑤ 回遊性を高めるための新たな路面公共交通システム「SRT」の導入	計画に記載	・今年度後半のSRT「東西ルート（名古屋駅-栄間）」の運行開始に向けて、乗降・待合空間の整備や車両の製造・架装、エリア版MaaSアプリ「CentX」との連携に向けた検討・準備、関係機関との協議【再掲】 ・運行開始後においては回遊性を高める施策の推進、Smart機能による情報発信、効果的なまちづくり施策に向けたビッグデータの整理